

令和6年第2回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年2月27日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 14時47分
- 3 開催場所 市役所1階 多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	千 石 剛
市参事(学校再編担当)	伊 藤 勝
教育総務課長	中 井 孝 浩
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	工 藤 憲 人
図書館長	伊 藤 陽 子
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき
教育総務課(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

6 付議事項

議案第3号 令和6年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

議案第4号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

教育長より、本日の議案第3号は人事案件であるため、加西市教育委員会会議規則

第 15 条第 1 項のただし書の規定に基づき非公開とすることを諮り、出席者（5 名）の全会一致で承認を得ました。

会議の進行上、先に議案第 4 号から審議を行い、議案第 3 号は休憩を挟んだ後に非公開で審議しました。

8 質問及び討議の内容

議案第 4 号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

（こども未来課長からの説明）加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例について、別紙のとおり制定したいので委員会の議決を求めます。加西市学童保育園の設置に関する条例（平成 15 年加西市条例第 8 号）の一部を次のように改正いたします。別表第 2 中に新たに「夏季休業日 1 人につき 15,000 円」の項目を追加いたします。

今回の改正につきましては、長期休業中の料金区分の中に新たに夏季休業日のみ利用する者の保育料を定めることで、長期休業期間中の保育料の平準化を図るとともに、利用者の負担を軽減するため所要の改正を行うものです。現在の長期休業中の学童保育園利用料につきましては、春季休業日及び冬季休業日の利用料の設定はありますが、夏季休業日の利用料の設定がありません。夏季休業日の期間のみの利用者については、7 月分月額利用料 6,000 円と 8 月分月額利用料 12,000 円、合計 18,000 円を利用者負担ということにしていたましたが、新たに夏季休業日の利用料を 15,000 円と定めることで利用者負担の軽減を図るものであります。この条例は令和 6 年 4 月 1 日から施行いたします。

教育委員の質問とこども未来課長の回答

- ・これはお休みの間、一括の金額ですね。

（回答）そうです。夏休みの 7 月 21 日から 8 月末まで、この分を一括で 15,000 円ということになります。

- ・お休みをした場合は日割りされるのですか。

（回答）日割りにはなりません。基本的に学童保育料は月額ごとの利用料金になっておりますので、休みに関しても日割りということではありません。

- ・お休みされてもこの額を払うということですね。

(回答) そうです。

9 議決事項

議案第4号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

報告事項についてはお手元の資料をご覧ください。項目だけを掲載いたしております。その中で主な内容について詳しくご報告いたします。

1月23日から始まりました学校再編についての説明会につきましては、1月24日、25日、28日に開催いたしました。いただいたご意見はウェブに掲載し、どなたでもご覧いただけるようになっています。

説明会ではお一人の方が反対のご意見を述べられましたが、説明してある程度ご納得いただいたと考えております。あとは再編そのものではなく、通学バスのこと、統合により学習環境が変わることへの不安やその対応、人口増対策、地域の活性化など、再編後のことについてのご意見やご質問が多かったと思います。今後、新たな小学校中学校の開校準備委員会を組織して、丁寧に対応してまいりたいと思います。宇仁小学校地区につきましては継続して協議をしてまいることになっております。

1月27日の加西シニアクラブ連合会の研修会では、最初に高濱莉乃さんと蓬莱奈央さんお二人のデュオ・コンサートを含めまして、その後、東大名誉教授眞鍋昇先生の健康寿命を5年のばすという講演があり、最新栄養学からのお話でとても勉強になりました。健康に過ごすためには食べ物がいかに重要かということをお話いただきました。

2月4日には、県立フラワーセンター秋の写真コンテストの表彰式がありました。写真というのは、撮り方によってこんなにも変わるのだと感動いたしました。高度な撮影技術とか撮り手の思い、様々な要素がかみ合っただけで素晴らしい写真が撮れるということをお話いただきました。教育委員会としてフラワーセンターの様々な事業に良い形で連携して、子どもの成長につなげていきたいと改めて思った次第です。

2月13日には外国語専科教員連絡会を開催しました。加西 GLOBAL を提唱する一環として小学校英語担当の先生に来ていただき、あわせて来年からアドバイザーをお願いしている元中学校教諭三船先生にも参加していただき、小学校の現状や課題、小

学校で共通して取り入れようとしている英語のスピーキング能力向上に向けてのジョリーフォニックスなどについて協議を行いました。今後は中学校における英語教育との連携など様々な面で、学校の英語教育の指導力も高めていきたいと考えています。

2月14日の議会の総務委員会では、各議員から主に学校再編に関するご質問をいただいております。

2月15日は議会主催の中村弁護士によるハラスメント防止研修会に出席してまいりました。パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントを中心にお話していただき、これもとても勉強になりました。私が理解した内容で言いますと、まずパワハラというのは受けた人の主観もあるのですが、それよりも社会通念によって判断されることが多いと、逆にセクハラは、受けたと言う方の主観が大きく、特に身体的な接触があったような場合はどんな理由があろうと100%アウトでしょうと、そういう話がありました。しかし、なかなか厳しいなと思ったのは、いずれについても客観的な証拠がないと裁判では勝てないということで、その手段として必要に応じて録音するというようなことは、相手に了承を得なくても全く問題ありませんというふうな話でした。

それから、ハラスメントは何をもって解決するのかという質問がありました。ハラスメントの解決については、まず当事者同士が和解して納得すること、これが一番基本的な解決ですと言われました。それで解決できない場合は、裁判に訴えて裁判所が判断しますということで、その二つ以外にはありませんというふうなお話でした。基本的にハラスメントは当事者同士のお話ということになるのかなということを感じた次第です。何にしてもパワハラ、セクハラが生まれにくいような職場環境、相談できる人のいる風通しの良い環境は、非常に大事だと思った次第でございます。

2月17日はクレオ大阪中央ホールでコンサートに行かせていただきました。これは「ムーンショット目標9山脇プロジェクト」ということで、イノベーションを起こす人材を育てるという内閣府の行う事業の一環であります。今回の内容は音楽を通して人間の心を豊かに育てるということでした。参加した理由は、秋に加西市の小学生を西本智実さんに指導していただき、実は西本さんがムーンショットの一員として大阪でコンサートを行うということで、下里小学校と賀茂小学校の子どもたちに「参加されませんか」とお声をかけていただいて参加することになったということです。加西市立小学校2校と大阪市立小学校2校の子がオーケストラと一緒にリコーダーを演奏し、発表したということです。

子どもたちにとってはなかなかできない非常に良い経験になったと思います。改めていろいろなところに出ていく経験というのも大事だと思いましたので、いかにそういう機会をつくってあげるかということが私たちの仕事かと思っています。また、この事業に関してはバスの費用等も全て向こうのほうで持っていただくということで、非常にありがたい事業だったと思っています。

2月19日の播磨東教育長会では、主に県の教育事務所から次年度の予算、重点事業

等についての説明がありました。

特に印象的だったのは部活動についてです。地域移行ということがずっと言われておりましたが、出てきた資料には地域移行型、地域連携型、ハイブリット型という三つのどれかで行ってくださいというようなことが書いてあり、内容が今までと違うかなと少し思いました。いずれにしても地域連携型というのは今とあまり変わらないので、それも含めて考えるということであれば教員の働き方改革は当然必要なのですが、それを踏まえつつ地域連携型も含めたあまり無理のない形の部活動の今後を考えていくということが必要なかと思ひまして、今後この仕組みづくりを考えていきたいというふうに思っております。

こども未来課長

令和6年度児童療育事業についてご報告させていただきます。経緯としまして、児童療育事業については、NPO法人まーぶるキッズに事業委託を行い、福祉会館において発達支援が必要な未就学児童を対象に、心理士による発達相談や言語聴覚士による言葉の相談、こども園訪問などを行ってまいりましたが、令和6年3月をもって受託事業者が解散することとなり、事業継続の方策を検討してまいりました。方向性として、①児童療育室の継続については現在オークタウンで実施しております子育てひろばを健康福祉会館へ移転し、名称を「ほくぶキッズ」から「ねひめキッズ」に改め、従来の子育てひろば事業に療育事業を合わせて市の直営で実施することといたします。

開設時間は9時から17時の予定、土日祝、年末年始はお休みとします。職員体制は施設管理者1名、公認心理師1名、保育士（子育て支援員の資格を持った者）2名を市の職員として配置します。また、業務委託として専門家である医師1名、言語聴覚士1名、作業療法士1名に来ていただきまして、各種事業を行っていくということになります。

事業内容は療育事業として小集団での療育事業、心理士や保育士、言語聴覚士などに関わっていただきます。また、心理士による発達検査や医師による発達相談、言語聴覚士への言葉の相談など、現在行っている療育事業は専門職の方々の力を借りながら実施していきます。また、子育てひろば事業につきましても、「なかよしタイム」や「年齢別ひろば」など、現在行っている子育てひろば事業も合わせて行っていくこととしております。

教育委員の質問とこども未来課長の回答

- ・この事業は会費や利用料とかは要るのでしょうか。

(回答) 利用料等はいただいております。というのも療育事業ということで支援が必要な子どもさん方への支援として行っているからです。

・職員体制ですけれども、お医者様や心理士さんとか書かれている方々はどこからお呼びされるのでしょうか。

(回答) お医者さんは、医療福祉センターきずなの先生に引き続きお願いをしております。言語聴覚士に関しましては新たな方を探して、来ていただく予定にしております。作業療法士も引き続き同じ方に来ていただくようお願いをしております。

・資料の中に「母娘のリトミック教室」というのがありますが、これは何か男の子は参加できないのかというような感じに見えてしまうのですが。

(回答) そうことではなくて、親子ということでご理解いただけたらと思います。

生涯学習課長

「加西市教育事業（教育委員会関係）補助金交付要綱の一部を改正する要綱」について報告させていただきます。この要綱は市内の団体等がいろいろな事業を実施する場合、加西市が補助を行うための必要事項を定めているもので、現在 10 の事業について定めております。このたび住民の社会教育に対する関心を高め、地域コミュニティ活動を活性化するため、自治会で行われる社会教育活動の費用の一部を助成することにより地域における生涯学習の推進を図ることを目的として、「社会教育推進事業補助」を加えることといたしました。補助金額は上限 2 万円となり、令和 6 年 4 月 1 日から施行いたします。資料には「加西市社会教育推進事業補助金交付要領（案）」を載せておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、生涯学習課各事業についてご報告いたします。これまで定例教育委員会の場をお借りしまして、生涯学習課が行う事業や公民館等が行う事業について報告をさせていただいてきました。今年度も 2 月末になり公民館の主催事業を初め、ほとんどの事業を無事に終えることができいております。本日は 3 月に行われる事業についてお話をさせていただきます。

3 月 25 日に、株式会社ジオグリフさんのご協力をいただき、丸山総合公園で「コスモスケール脱出ゲーム」という小学生を対象にしたオリエンテーリングを計画しております。公園内に設けたいろいろなチェックポイントで問題を解いていく内容となっております。この時使用する問題は加西中学校の生徒さんが作ってくださっていると聞いております。

続いて、机上にカラー刷りのチラシ「土曜日をもっと楽しもう！」を配布しております。4 月以降の土曜チャレンジ事業について掲載させていただいております。3 月 5 日に小学校を通じて全児童に配布させていただく予定です。

総合教育センター所長

総合教育センターより2点報告いたします。

1点目は「令和5年度教職員研修講座のまとめについて」ご報告いたします。教職員の資質向上を狙いとし、昨年度末に実施した教職員アンケートで希望の多かった内容や講師を考慮し、資料の44講座を開設しました。実施に際しては小・中・特別支援学校教職員はもちろん、公立だけでなく私立も含めた園職員も参加できるよう、時期や日程等を調整しました。本年度は1,429名の受講があり、過去5年間で最も多い受講数となりました。また、教育講演会を初め全体的に講座の評価が非常に高い結果となり、講座の評価は5段階評価で4.65でした。

今年度も評価が高かった講座は、教育現場で実践を重ねてきた退職した先生方や現役教職員等が講師となった講座でした。教育に対する強い思いで熱のこもった実践的な研修をしていただきました。また、民間フリースクール代表を講師に招いた不登校に関する講座も、学びの多いものとなりました。非認知能力をテーマとした教育講演会も大変好評で、点数がつけられない非認知能力こそが、変化の激しい未来をたくましくしなやかに生きていくために欠かせない重要な力であることを市の全教員で共有する機会となりました。また、昨年度に引き続き課題の一つである教科授業改善、教科授業力向上に向けて教科担当者会と連携して取り組みました。令和6年度もさらに工夫をして充実させていくことを既に校長会と協議しております。

急激な世代交代によって若手教員の割合が増えている学校現場では、研修がこれまで以上に必要となっております。しかしながら、各校の教育課程が密で16校に対しての研修講座の日程確保が大変難しい状況です。さらに、毎年出ていることですが、小規模校では複数の教員の出張は学校運営に支障が出るため、受講はできないという声も聞いております。開校に当たっては市内16校の行事日程等を調整しながら、全職員が希望講座を受講できるよう、また学校運営や教職員の負担が大きくなるように、時期や時間帯の調整をできる限り図っていきます。来年度も教職員のニーズに応える効果的で魅力ある講座を目指し、十分に検討しつつ準備を進めていきます。

2点目は「令和6年度青少年健全育成カレンダー、クリアファイルの配布について」ご報告いたします。今年度もいじめ防止啓発を目的とする青少年健全育成カレンダーとクリアファイルを作成いたしました。児童生徒のポスター・標語の優秀作品を記載した令和6年度版を教育委員の皆様のお手元にお配りしております。青少年健全育成カレンダーにつきましては、市内公民館を初め加西市施設や関係機関、こども園、各町公会堂等に3月上旬頃から配布し、市民総がかりでいじめ防止に取り組めるよう啓発に努めます。また、身近で目に触れることの多いクリアファイルにつきましては、市内全児童生徒に来週配布し、新小学校1年生には入学後配布する予定です。

教育委員の質問と総合教育センター所長の回答

- ・研修講座につきましては、まず日程の調整や講師の先生としてどういう方を選ぶかということで、本当にご苦労いただいた中、とても高評価が得られたという良い報告を聞かせてもらいました。また、来年度に向けて準備をされているということでよろしくお願ひしたいと思ひます。感想とお礼だけ申し上げます。
- ・44 という本当にたくさんの講座を開設していただきまして、感謝申し上げます。また、多方面の人材から講師の先生方を選ばれているので、本当にご苦労があったのではないかと思ひます。書かれているように公立だけでなく、私立を含めたこども園職員も参加できるように日程等を調整されたということでしたが、実際私立こども園からの参加とはどうでしたでしょうか。
(回答) これまでも言われていたことですが、まずこども園職員が平日の研修講座に参加するというのは、条件が厳しい状況です。ただ、決まった講座というか、いくつかの講座で受けられている方は数名いらっしゃいました。それから、私立園のほうですが、今年度は今把握できていないのですが、昨年とかは、こちらも多くはないですが、数名受講されていた状況であります。
- ・ありがとうございます。日程調整をして参加できるような仕組みにさせていただいたことに感謝申し上げます。これだけのことを考えるというのは、本当に大変でしょうけれども、来年度もよろしくお願ひいたします。

図書館長

令和5年度図書館アンケート集計結果について報告いたします。こちらのアンケートは図書館利用者及び図書館を利用していない人の意見を把握し、今後の図書館サービスの充実の参考とするために実施いたしました。また、本アンケート結果は国のデジタル田園都市国家構想推進交付金事業の重要な業績評価指標の一つとして設定されております。実施形態は紙とウェブフォームからになります。ウェブ回答者には、希望の方に健康ポイント20ポイントを付与する特典をつけております。実施期間は令和6年2月2日から2月16日までです。図書館内にアンケート用紙を配置し、図書館ホームページにも掲載しました。また、加西市公式LINE、図書館公式LINE及び健幸アプリに登録のある方に情報を配信しまして、アンケートにご協力いただきました。有効回答数は館内16名、ウェブフォームから683名の計699名となっております。

回答者の内訳については以下のとおりです。利用の有無については「利用している」58%、「利用していない」42%でした。アンケート回答者の7割以上が女性で、その多くは60代以上ですが、世代による利用の有無には大きな差はございませんでした。図書館から遠方地域の方は利用していない割合が高くなっておりますが、日吉校区と西在田校区は遠方にもかかわらず利用している方の割合が高くなっております。

次に、図書館を利用する人の回答ですが、利用頻度については「年に数回利用する人」が最も多く、次に「月に2～3回利用する人」が続きます。これは本の返却サイクルで継続して利用されていると考えられます。利用者の図書館滞在時間については、ほとんどが30分以内または1時間以内になっています。1時間を超えて滞在する人は14%程度になっております。そして、図書館の利用目的については、本や雑誌の貸出返却が圧倒的に多く、滞在型利用では本の閲覧及び雑誌新聞の閲覧が多くなっております。

次に、充実してほしい図書資料のジャンルについては、多い順に趣味・実用書、小説となっており、その後に健康・医学書、雑誌が続きます。昨年から雑誌が減り健康医学書が増えております。

図書館についての満足度ですが、どの項目についても「満足」と「やや満足」が多く、特に自動貸出機・返却機についての満足度が高くなっております。開館時間については満足されてはいますが、他の項目に比べて少し「不満」の割合が高くなっております。満足度の項目では「満足」を3点、「やや満足」を1点、「やや不満」をマイナス1点、「不満」をマイナス3点としスコア換算した結果、年代別では表のような平均点数になっており全体では平均17.7点になりました。

次に、図書館サービスの利用度・認知度についてです。サービス項目ごとに利用度や認知度に大きな差が見られます。利用しないと資料の貸出返却ができないような自動貸出機・返却機や来館して目で見て分かるサービスについては、利用度や認知度が高くなっています。フリーWi-Fiや電子図書館等の目に見えないものや最近始めたサービス、読書手帳やキッズクラフト等のプラスアルファ要素が多いサービスは、利用度や認知度が低くなっております。利用度認知度の項目を「利用したことがある」2点、「知っている」1点、「知らない」をゼロ点としてスコア換算した結果、年代別では表のような平均点数になり、全体で平均13.6点になりました。全ての年代において前回より向上しております。

満足度のスコアと利用度、認知度のスコアのそれぞれの平均を足して10段階評価にするため6で割りますと、5.2となり四捨五入して今回の評価は5となります。前は4.9でした。前回の4.9よりは0.3ポイント向上いたしました。最終評価は前回と同じ5となっております。

続いて、図書館を利用しない人の回答は以下のとおりです。図書館を利用しない理由として「本は自分で購入する」、「本を読まない」の順に多く、3番目に「自宅や職場などから遠い」となっています。また、図書館を利用するための条件に「家の近くで返却や予約の受け取りができるようになる」との回答が多くありました。これらのアンケート結果から善防、南部、北部の3公民館と総合教育センターで図書館の本の返却と予約本の受け取りサービスの認知度を高めることで、少しでも図書館利用者を増やすことができると考えております。また、図書館から遠方の地域にお住まい

の方や開館時間に不満をお持ちの方には、ぜひ電子図書館サービスを利用していただきたいとも考えております。

アンケート全体を通しまして結果としては、前回から大きく変わった点はなかったようです。ただ、前は新型コロナウイルスの感染を心配する声が多くありましたが、今回はそれほどではございませんでした。以前から実施しているサービスでも知られていないものが多くあり、さらに図書館サービスについてPRをする必要性を感じました。これからも図書館の便利なサービスを多くの方に知っていただき、利用いただけるよう、利用啓発に努めたいと考えます。

教育委員の質問と図書館長の回答

・これもお礼なんですけど、本当に詳細なアンケートと分析をしていただいてありがとうございます。少し気になったのは10代の方の満足度が去年より大分低くなったことです。逆に、同じ若者世代と言っているのか分かりませんが、20代のほうは満足度が上がっているというあたりで、何か思い当たるようなことがあったかと思えます。ただ、サービスの利用度のところでは、10代でも高くなっているのですが。
(回答) 回答者の年齢分布の内訳からアンケート回答者の年齢構成が分かるのですが、10代の回答者は2名だけで、その方の答えた内容でこうなっています。そういう意味では20代も8名だけなのですが、回答数が少ないため、回答者の比重が大きくこのような数字になってしまっています。

・意見ではありませんが、10代、20代の方が図書館を訪れるとすれば、試験勉強ばかりしに来ているようなイメージがありますが、実際そういう感じですか。
(回答) 図書館に来られる若い方はほぼとは言いませんが、確かにそういう方は多いです。このアンケートについては、もちろん公式LINEからも回答いただけるのですが、前回から健康ポイントと連携して、回答者に特典として20ポイントつけています。それで、健康ポイントは二十歳以上の方が対象ではありますが、やはり利用者は年配の方が多く、若い方に回答していただくようなツールや若い人に響くような仕方をするというのは、なかなか難しいところがあるのではないかと考えております。

・確かに若い子たちは受験があるし、年寄りには新聞を読みに来ているじゃないですが、そういうふうに使われてしまいますね。何かもっと若者向けのコーナーなり何かできたらいいと思うのですが。
(回答) 中学生や高校生向けには、ヤングアダルト向けコーナーということで、4階カウンターの近くにその年代向けの本を置いてはいるのですが、そのそばの机に座

って一生懸命、勉強をしている方はやはり多くいると思います。

- ・資格を勉強するときも、家にいたら進まないのですが、図書館に行ったら結構はかどるものですよ。
- ・若い方は学校の図書館もあるので、それを利用していると思いたいのですが、その一方で図書離れ、読書離れというのはあるので、その辺りは学校とも連携しながらぜひ本をたくさん読もうというように、子どもたちに読書の習慣をつけていてもらいたいと思います。あと、図書館には絵本なんかも本当に充実していますので、それも加西市立図書館の売りの一つだと私は思っています。また、子どもたちに来てもらえるような行事やイベントも工夫をされていますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。
- ・電子図書館は少し心配していたのですが、使い勝手が良いですね。ぱっと予約ができて、データでそこに入ってくるので、そう思ったら行くのが面倒くさいという若者にも予約で若者向けの本を借りることができて、いろいろなニーズがあるかもしれないと思います。コロナ前の集客に戻っていくかというのは心配なところですが、進化していく図書館というのはとても良いことだと思います。結論的には難しいのですけどね。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和6年第3回定例教育委員会 3月27日(水) 14:00～4階入札室(大)
- ・令和6年第4回定例教育委員会 4月23日(火) 14:00～5階大会議室

1 4 その他

- ・今年度4月より評議委員会からコミスクのほうに新たに変わり、この1年を通じて研修を行うなど、いろいろな試行錯誤をされてきたと思います。今年度、実際にコミスクをやってみてどうだったのか、例えば「各学校において目的や目標を挙げられて、それに対してコミスクの現場を中心に地域の人と連携してどんなイベントをされたのか」、「それをやってみてどんな成果があったのか」等もろもろについて、

進捗はどうか気になっています。多分一度に聞いても分からないと思うので、できれば3月から5月の間に、「この学校は、こういう目的で、こういったことを行った」というのをまとめて教えていただければと思います。そうすれば、令和6年度に向けて、もっと改善できることやどんなメンバーを入れて行うなどという意見が出てくると思います。大変だとは思いますが、気になっていることなので学校の STEAM 教育についての報告のような仕方でまとめていろいろと教えていただけたらと思った次第です。

(総合教育センター所長の回答) 明日の定例校長会において、今年度の学校運営協議会活動報告のまとめをいただきたいということで、学校に依頼をします。細かな詳しいことではなく、大きくどのような活動を行い、感じている成果や課題を教えてほしいと言うことにしています。ただ、これはふれあいホームや校内フリースクールにも言えることですが、まだ始めて1年目ですので、いきなり何かの成果を上げるとか一気にイベントで何かをするというと、負担ばかりでやらされている感になってしまいます。むしろ時間をかけながら、必要なことは付け足されていくものと考えています。

でも、今年度も8月に全ての校長と学校運営協議会の会長が集まり意見交流を行ったのですが、その会でもう既によかったことや失敗したことなど、意見がいくつか出ていました。その辺りを出し合い、よかったところの取り合いができればと考えていますので、まとめとして整理し報告として出していきたいと思います。

- できれば以前の評議委員会とコミスクを比較しながら、コミスクによってどのような成果が出たのか、これは評議委員会のほうがよかったなどについて挙げてまとめてもらえると実際に分かっていいのではないかと思いますし、それも一つのベースになっていくと思います。一度にやるのは難しいので、少しずつ少しずつ広げていければいいと思っています。そして、大まかでいいので「こういう目的でこういうことをやってみた、評議委員会ではここで終わってしまうところだが、コミスクだったのでここまで踏み込んで地域と絡んで行えた」というふうなことで、進化ではないですが、出た成果を報告していただければ、教育委員にとっても、ためになると思いますのでよろしくお願いいたします。
- 今日から3月議会が始まりましたが、教育の充実にとって来年度の予算を決める本場に大事な議会だと思っていますので、予算確保をお願いしたいと思います。もう一方で学校再編の予定もどんどん迫ってきていますので、本当にお忙しいと思いますけれども、よろしくお願いいたします。

15 質問及び討議の内容 (非公開)

議案第3号 令和6年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

16 議決事項（非公開）

議案第3号 令和6年度加西市立公立学校の管理職人事内申について

原案どおり可決

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年2月27日

出席者

(出席者署名)